

資料編

- I 札幌市教育振興基本計画の改定に係る経過**
- II 札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議**
- III 札幌市総合教育会議**
- IV パブリックコメント・キッズコメント手続き**

I 札幌市教育振興基本計画の改定に係る経過

年 月 日	会 議 等
2018 年 6 月 8 日	第 1 回札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議
6 月 29 日	第 2 回札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議
7 月 24 日	第 3 回札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議
8 月 30 日	第 4 回札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議
9 月 11 日 ～ 10 月 1 日	庁内メール会議
10 月 11 日	庁内関係課長会議
10 月 24 日	庁内関係部長会議兼企画調整会議幹事会
11 月 8 日 ～ 11 月 15 日	市長及び副市長へ報告
11 月 16 日	計画<<改定版>>(案)の決定【教育委員会会議議決】
12 月 11 日	札幌市議会文教委員会へ報告
12 月 20 日 ～ 2019 年 1 月 18 日	パブリックコメント・キッズコメント (計画<<改定版>>(案)に対する市民意見の募集)
1 月 24 日	札幌市総合教育会議
2 月 28 日	計画<<改定版>>の策定【教育委員会会議議決】
3 月上旬	市長及び副市長へ報告、札幌市議会文教委員へ報告

II 札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議

本計画の策定に向け、学識経験者や学校関係者、公募委員等で構成する「札幌市教育振興基本計画の改定に向けた検討会議」を設置し、札幌市の学校教育や生涯学習に関して幅広い御意見をいただきました。

(1) 委員名簿

氏名（敬称略・50音順）	所属・役職等（2018年4月1日付委嘱・任命時点）
岸 春江	公募委員
佐久間 五十也	新川さくら並木連合町内会・会長
佐々木 邦子	北翔大学・教授
佐藤 義昭 【副議長】	北海道文教大学・教授
瀬戸 富美子	中央幼稚園・園長
津田 安彦	山鼻南小学校・校長
並川 寛司 【議長】	北海道教育大学札幌校・教授
西塚 真人	北海道ガス株式会社 総務人事部広報グループ・マネージャー
橋本 敏昭	中央中学校・校長
林 恵子	旭丘高等学校・校長
春田 和之	豊成養護学校・校長
堀内 仁志	公募委員
本望 由佳	札幌市PTA協議会・副会長
丸谷 雄輔	札幌市私立幼稚園連合会・副会長

(2) 開催状況

	開催日	主な協議内容
第1回	2018年6月8日	「札幌市教育振興基本計画」の内容確認等
第2回	6月29日	基本的方向性1について
第3回	7月24日	基本的方向性2について
第4回	8月30日	基本的方向性3について、検討会議の総括

(3) 主な意見の概要

- 教員の負担軽減をはじめとした学校における働き方改革について、夏季休業中の休校日の設定や部活動の活動時間の基準設定など、大きな要素となる。
- 幼児教育の在り方について、社会全体に理解してもらうことができるよう啓発すべき。
- 幼保小連携推進協議会について、形としては確立しているが、連携の具体的な手法を考えていかなければならない。
- 各学校における朝読書などの取組によって、子どもたちの読書に対する意識が高まっていると感じられ、今後も、継続した取組を期待する。
- 進路探究学習について、子どものニーズと企業のニーズをマッチングさせる機会をどのように創出するか考える必要がある。
- 生涯学習について、学習したいと願う人々が、学習機会や方法に関する情報を享受できるような仕組みがより強化されることを期待する。
- スクールカウンセラーなどに早い段階でつなぐことが大切であるが、配置時数が不足するという状況もあり、更なる充実が必要である。
- 携帯電話やインターネット利用の低年齢化が進んでおり、SNSなどによるトラブルが起きないように、何か手を打つべきだと危機感を抱いている。
- 図書館について、市民ニーズに応じた様々な企画展を開催するなど、より充実させていくべきである。
- 特別支援学級の整備率が高まっているため、各学校において、障がいのある子どもとない子どもが共に学ぶ取組を進めていく必要がある。
- サッポロサタデスクール事業について、子どもが様々な大人と関わりながら、体験的に学ぶことができる素晴らしい取組であるが、土曜日などに学校施設を利用する際には、学校における働き方改革という視点に立った事業展開となることを期待する。
- 学校と企業との連携について、お互いが拠り所にできる共通の指針のようなものをつくり、それをまとめ、検索できるような環境づくりが進むと、企業側からの関わりを強めることができる。
- 乳児期にどのように子育てをすると、子どもが将来幸せに生活していくことができるのかという大きな主題のもと、新しい親育ちの支援策を考えなければならない。

Ⅲ 札幌市総合教育会議

2019年1月24日（木曜日）に開催された札幌市総合教育会議において、「札幌市教育振興基本計画《改定版》（案）を踏まえた今後の教育について」を協議題とし、①夢や目標をもつことの大切さについて、②健やかな体の育成について、③不登校児童生徒などへの支援について、の三つの観点から意見交換が行われました。

（1）出席者

◆ 秋元 克広	市長	◆ 町田 隆敏	副市長
◆ 長谷川 雅英	教育長	◆ 池田 官司	教育委員
◆ 阿部 夕子	教育委員	◆ 佐藤 淳	教育委員
◆ 石井 知子	教育委員	◆ 道尻 豊	教育委員

（2）主な意見の概要

① 夢や目標をもつことの大切さについて

- 子どもが自分のよいところや得意なことに気付くなど自己理解することが大切である。
- キャリアカウンセラーなど企業の力を活用することが有効である。
- 子どもの自己肯定感を育むためには、周りの大人が子どもの興味・関心を認めることが必要である。
- 夢や目標を絞り過ぎず、多様な価値観により幅広い選択肢をもつとよい。
- 札幌ならではの施設を活用した、「本物」に触れる体験的な機会が大切である。

② 健やかな体の育成について

- 運動やスポーツに取り組む習慣を定着させることは、なかなか難しいことである。
- オリンピック・パラリンピック教育は、スポーツ文化の定着に有効である。
- 各学校で取り組んでいる好事例を共有することが大切である。
- オリンピック・パラリンピアンやプロスポーツチームを活用することも有効である。
- 運動に苦手意識をもっている子どもには、他の興味・関心事とつなげて楽しく取り組むことができるようにするとよい。
- 学校とまちづくりセンターなどの公共施設とが複合化することで、生涯学習の観点からも有意義な運動機会を得ることが可能となる。

③ 不登校児童生徒などへの支援について

- 不登校になる要因は複雑であり、専門的な支援を充実させる必要がある。
- 様々な支援体制があることをしっかり伝えることが大切である。
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による支援の充実が必要である。
- 不登校児童生徒一人一人の学びの保障が大切であり、学び直しの機会が必要である。
- 関係部局のほか、家庭や地域なども含めたネットワークによる早期支援が大切である。

IV パブリックコメント・キッズコメント手続き

札幌市教育振興基本計画《改定版》の（案）を公表し、市民の皆様から広く御意見を募集しました。また、お寄せいただいた御意見を参考に、公表した案を一部変更しました。

（1）実施概要

意見募集期間

2018年12月20日（木）～2019年1月18日（金）

意見募集方法

持参・郵送・ファクス・電子メール・札幌市公式ホームページ

資料の配布場所

- ◆ 札幌市役所本庁舎2階 市政刊行物コーナー
- ◆ 各区役所（総務企画課広聴係）
- ◆ 各まちづくりセンター
- ◆ ふれあいパンフレットコーナー
- ◆ 各市立幼稚園・認定こども園・学校
- ◆ 札幌市教育委員会（生涯学習部総務課）
- ◆ 各市立図書館（中央図書館、各地区図書館、えほん図書館、図書・情報館）
- ◆ 札幌市生涯学習センター（メディアプラザ）
- ◆ 札幌市青少年科学館
- ◆ 札幌市商工会議所
- ◆ 札幌市公式ホームページ

（2）意見内訳

意見提出者数・意見件数

〔パブリックコメント〕18人・40件 〔キッズコメント〕148人・468件

年代・学年別内訳

〔パブリックコメント〕

年代	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
人数	3人	1人	4人	3人	3人	2人	1人	1人	18人
件数	3件	1件	4件	6件	16件	8件	1件	1件	40件

〔キッズコメント〕

学年	小学生		中学生			不明	合計
	5年生	6年生	1年生	2年生	3年生		
人数	8人	98人	9人	20人	13人	0人	148人
件数	23件	292件	45件	60件	48件	0件	468件

提出方法別内訳

〔パブリックコメント〕

提出方法	持参	郵送	ファクス	電子メール	ホームページ	合計
提出者数	0人	5人	2人	3人	8人	18人
構成比	0%	27.8%	11.1%	16.7%	44.4%	100%

*表中の内訳数値は、小数第2位を四捨五入しています。

〔キッズコメント〕

提出方法	持参	郵送	ファクス	電子メール	ホームページ	合計
提出者数	0人	148人	0人	0人	0人	148人
構成比	0%	100%	0%	0%	0%	100%

*キッズコメントにおいて、班やグループで御提出いただいたものは「一人」として数えています。

項目別内訳

項目	パブリック コメント		キッズ コメント		合計	
	意見 件数	構成比	意見 件数	構成比	意見 件数	構成比
第1章 札幌市教育振興基本計画について	0件	0%	0件	0%	0件	0%
第2章 教育を取り巻く現状	1件	2.5%	0件	0%	1件	0.2%
第3章 札幌市教育ビジョン	7件	17.5%	20件	4.3%	27件	5.3%
第4章 札幌市教育アクションプラン(後期)	32件	80.0%	416件	88.9%	448件	88.2%
第5章 計画の推進に当たって	0件	0%	0件	0%	0件	0%
その他(計画全般に関する事など)	0件	0%	32件	6.8%	32件	6.3%
合計	40件	100%	468件	100%	508件	100%

*表中の内訳数値は、小数第2位を四捨五入しています。

(3) 意見を参考に変更した箇所

No.	意見の概要	変更内容
1	〔パブリックコメント〕 教育を取り巻く現状として、国における働き方改革に関する法制定の動きについても明記すべきである。	御意見を参考に、以下のとおり記載を変更しました。 【変更前】 ～長時間労働の解消といった取組の必要性がクローズアップされています。 【変更後（7ページ）】 ～長時間労働の解消といった取組が求められており、2018年6月には、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が成立しました。
2	〔パブリックコメント〕 札幌市の教育が目指す人間像の説明文中の「自己肯定感」「自己有用感」という言葉は、一般的には意味の区別が難しいため、脚注を付けるべきである。	御意見を参考に、脚注を追加しました。（10ページ）
3	〔パブリックコメント〕 基本的方向性の説明文中の「以下、三つの基本的方向性に沿って教育施策を展開していきます。」を「以下、三つの基本的方向性に沿って教育施策を合理的配慮に基づいて展開していきます。」としてほしい。 〔パブリックコメント〕 重要項目1の説明文中の「課題探究的な学習を取り入れた授業改善を推進する必要があります。」を「課題探究的な学習を取り入れた授業改善を合理的配慮に基づき推進する必要があります。」としてほしい。	札幌市の教育が目指す人間像には、合理的配慮の必要性を包含する「共生」の願いを込めています。そのため、各施策を展開するに当たりましては、一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に努めてまいります。 なお、御意見を参考に、以下のとおり記載を変更し、併せて脚注を追加しました。 【変更前】 ～障がいのある子どもの自立と社会参加を目指し、可能な限り障がいのある子どもとない子どもとが共に学ぶことができるよう配慮しつつ～ 【変更後（38ページ）】 ～障がいのある子どもの自立と社会参加を目指し、合理的配慮の提供に努めるとともに、可能な限り障がいのある子どもとない子どもとが共に学ぶことができるよう配慮しつつ～

No.	意見の概要	変更内容
4	〔パブリックコメント〕 子どもの望ましい学習習慣づくりは、家庭の協力があることが大前提となるため、「さっぼろっ子『学び』のススメ」のリーフレットを、小・中学生のいる全家庭に配布していることを強調するとよい。	御意見を参考に、以下のとおり記載を変更しました。 【変更前】 「さっぼろっ子『学び』のススメ」を活用しながら、各園・学校と家庭とが連携して、子どもの習慣づくりを推進 【変更後（24ページ）】 「さっぼろっ子『学び』のススメ」のリーフレットを小・中学生がいる全家庭に配布し、活用することで、各園・学校と家庭とが連携した子どもの習慣づくりを推進
5	〔パブリックコメント〕 施策 1-1-2「幼児期の教育の充実」の説明文中の「健やかな体、豊かな心、学ぶ力」の三つは、大切な視点だと思ふため、鍵括弧を付けて強調するとよい。	御意見を参考に、以下のとおり記載を変更しました。 【変更前】 私立幼稚園や認定こども園・保育所等の関係機関と連携し、幼児期の子どもに、遊びを通して健やかな体、豊かな心、学ぶ力など、生きる力の基礎を育みます。 【変更後（30ページ）】 私立幼稚園や認定こども園・保育所等の関係機関と連携し、幼児期の子どもに、遊びを通して「 <u>健やかな体</u> 」「 <u>豊かな心</u> 」「 <u>学ぶ力</u> 」など、「 <u>生きる力</u> 」の基礎を育みます。
6	〔パブリックコメント〕 「情報モラル」という言葉について、最近使われるようになった「モラルハラスメント」などの言葉との違いが分かるように、脚注を付けるべきである。	ご意見を参考に、脚注を追加しました。（33ページ）
7	〔パブリックコメント〕 「通級による指導の充実」について、対象が通常の学級に在籍する子どもであることを説明すべきである。	御意見を参考に、脚注を追加しました。（38ページ）

表紙デザイン

表紙デザインは、2014年3月に北海道札幌平岸高等学校（現：市立札幌平岸高等学校）デザインアートコースを卒業した阿部 季織さんの作品です。



札幌のまちの特色が詰まった箱を子どもも大人も積み上げて、札幌市をつくっていくイメージを表現しています。

札幌のまちの特色に表されるような豊かで実りのある生涯の学びになるようにという願いを込めました。

札幌市教育振興基本計画<<改定版>>

【札幌市教育ビジョン・札幌市教育アクションプラン（後期）】

2019年3月発行

<編集・発行>

札幌市教育委員会生涯学習部総務課教育政策担当

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル

電話番号（011）211-3829 ファクス番号（011）211-3828

